

ARAI NEWS

Arai (株)新井広武 〒330埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825-7



スーパー・スターの条件

Araiは多くのレーサーと長い間つき合ってきたので、レーサーが成長する過程もずいぶん見てきました。なかには、フレディー・スペンサーのようにノービスの頃からつき合いはじめたのが、世界のスーパー・スターにまで成長した例もあります。また、「これはとてつもない大物になるぞ」と目をつけた新人が、意外に伸びないまま消えていった事も少なくありません。そして、そんなことを数多く見ていながら、一流になるのはどんな人物か何となく見えるようになりました。今回はその話をしてみましょう。

よく新人の中に、すごい素質を持った人を見かけます。つまり、センスがいいというのか、実にカンどころのつかみ方が早い人です。走りはシャープで、ひとつの事をマスターするにも普通の人よりずっと早く、しかも簡単にこなしてしまう人です。こういった人は伸びつつあれば、とてつもない大物になるわけですが、意外にもすぐ頭打ちになることが結構多いのです。おそらく、他の仲間と自分自身を比較し、もう、自分の走りは最高。走りはすべてマスターしたぞなんて突に納得してしまうのでしょう。こうなってしまうのは、もうおしまいです。先はありません。

一流といわれるレーサーに聞くと、「走りとはそんなになまやさしいものじゃなく、走れば走る程、次々カベにつき当ってしまう。そのカベをひとつひとつ克服しつづけること。それが一流になる。あるいは一流でありつづけるための条件。走りというのは、どんなに素質があろうと、簡単にマスターできるような底の浅いものではない」のだそうです。

ですから、素質の点からみて並の上ぐらいでも、まちがった自信などもつことなく、学ぶこと、考えること、走り込むことをたゆみない努力でつみ重ねてゆく人の方が一流になれる場合が多いようです。世界グランプリクラスのライダーをみても、そんな努力型が多いのです。外人のなかには時々「俺は努力したことなんかない。才能だけでここまで来たんだ！」なんていう人もいますが、それは人前だけのはったりです。そんな人も実は、カゲでは涙ぐましい努力をつづけているのです。

あのフレディー・スペンサーにしても、20歳の若さとはいえ、レース歴からいえば大ベテランです。14歳の時にはすでに、ノービスクラスではいつもトップをとれるくらいまで走り

込んでたそうです。それから6年、努力のつみ重ねが今日のフレディー、ポルシェの4.5とV8を足がわりに使う、若き世界のスーパー・スターを生み出したわけです。

それでは、だれでも努力さえつめばスーパー・スターになれるのでしょうか？これは、むずかしい質問です。およそスーパー・スターと呼べるような人は、世界中でもほんのひとにぎりです。しかし、そんな人を見てるとやはり生まれつきの素質自体、とてつもないものをもってる人ばかり……。ですから、人並はずれた素質をもち、しかもたゆまぬ努力をつづける精神力を合わせもつ人、そんな人が人並以上に努力を重ね、そしてたまたま運がよければスーパー・スターになれるというわけです。並はずれた天性、精神力、努力そして運——どのひとつが欠けてもスーパー・スターにはなれないのです。

これを読んでくれた日本の若い皆さんのなかにも、明日のスーパー・スターがいるかもしれませんね。Araiは皆さんを応援します。